

愛知県ウィーク・パート2

愛知芸術文化センタープロデュース

ウズメ  
ダンスオペラ 『UZME』

2005年9月14日(水)18:30~19:30 EXPOドーム

当日自由席(一部事前予約席あり)

\*9:00 から EXPOドーム前で入場整理券を配布

~ <愛・地球博> の開催に合わせて特別に創作する祝祭公演 ~

蝕に隠れた太陽神を復活させるため  
神々が行った祝祭で、彼女は踊る。  
日本最古のダンサーといわれるウズメの始原的エネルギーを  
ダンス・音楽・言葉・美術が融合した  
新しい舞台芸術<ダンスオペラ>が描き出します。

CAST

ファルフ・ルジマトフ

白河直子

新上裕也

麻実れい

石川雅実 板垣優美子 加藤愛美

米沢唯 渡邊智美 tomomi

ペルセパッサ・オイリュトミー団



ファルフ・ルジマトフ



麻実れい

MUSICIANS

パーカッション：クリストファー・ハーディー

バイオリン：金原千恵子・栄田嘉彦 ヴィオラ：古川原裕仁

チェロ：堀沢真巳 ギター：加藤道明 木管：小田島亨

SONIC：石井AQ ヴォイス：小川美潮 ピアノ：橋本一子

STAFF

振付：笠井 叡

演出：手塚 眞

音楽監督：橋本一子



手塚眞

主催：愛知県、愛知芸術文化センター企画事業実行委員会、東海テレビ放送

企画制作：愛知県文化情報センター、NPO 法人 PAFA

協賛：麒麟ビール株式会社、チャコット株式会社

助成：財団法人地域創造

平成17年度文化庁芸術拠点形成事業

鍛えられた美しい身体、生命のリズムを刻む声、  
多様な楽器の音色、シンボリックな舞台美術、  
エキゾチックで神秘的な衣裳  
身体中の五感すべてで楽しむ幻想的な舞台！！

< 作品について >

愛・地球博を祝し、特別開催する<ダンスオペラ3>では、日本神話の重要人物であり、日本最古のパフォーマーといわれる<天鈿女命(あめのうずめのみこと)>をとりあげます。

古事記の群読(ぐんどく)をバックに、最も美しい身体をもったパフォーマーたちが演じる神話の世界は、時空を超えて、最も新しい「21世紀の神話」を描き出します。

生命のエネルギーとダイナミズムを全身で感じることのできる、熱い舞台にどうぞご期待ください！

最高の出演者と最高のスタッフ、総力を結集！！

<アーティスト・プロフィール>

ファルフ・ルジマトフ



世界で最も注目されるダンサー。ウズベキスタン生まれ。ワガノワ・バレエ学校卒業と同時にキーロフ・バレエに入団する。1990年にはアメリカに渡り、ABTでも活躍。現在、様々なバレエ団へのゲスト出演やガラ公演の中心として世界中で活躍している。高度なテクニクと表現力の豊かさに加えて、独自の情熱を感じさせるダンサー。そこには一種のカリスマ性がある。『海賊』『バヤデルカ』『シェヘラザード』ではエキゾチックな魅力を感じさせ、『白鳥の湖』『ジゼル』では独自のドラマティックな表現を見せる。また『タンゴ』(タゲノフ振付)、『バクチ』(ベシャルル振付)などモダン作品でも個性を大いに発揮する。2004年秋には笠井勲振付の『レクイエム』を世界初演、新境地を拓いた。

麻実れい(あさみ れい)

1970年宝塚歌劇団に入団。男役トップスターとして活躍。代表作は『ベルサイユのばら』『風と共に去りぬ』『うたかたの恋』など。'85年退団後は、シェークスピア作品、チャーホフ作品、ギリシャ劇など古典劇を中心にミュージカル、現代作家の作品と挑戦し続けている。読売演劇大賞、毎日芸術賞など受賞多数。'04年第54回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。



## 白河直子(しらかわ なおこ)

舞踊家、1989年、大島早紀子と共にH・アール・カオスを設立。欧州・北米・アジア各地で公演をおこない、行く先々のマスコミで「ニジンスキーの再来」「天上の美の使者」「現代最先端の身体」等、ダンサーとして最大限の賛辞を浴びている。愛知県芸術劇場大ホールでは99年にオーケストラによる『春の祭典』、02年に合唱とオーケストラによる『カルミナ・ブラーナ』等日本の舞踊史に残る公演を大成功に導いている。H・アール・カオスとして第1回朝日舞台芸術賞等多数受賞の他、04年には文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。05年2月ダンスオペラ2『青ひげ城の扉』ではアレッシオ・シルヴェストリンの振付で、主役のユディット役をつとめ、話題となった。



## 新上裕也(しんじょう ゆうや/YOUYA)



ダイナミックさと繊細さをあわせもつ感性豊かなその踊りには、独特の世界感があり、ダンサーとしても振付家としても注目されている。『Double Vision ジャズ・ダンスを川崎悦子、バレエを小林ひとみに師事。』は、The New York Timesにも取り上げられ、注目を浴びた。主な振付・出演作品は、『スターダスト in 上海』、『DECADANCE』、『a silhouette』、『エレクトラ』、DANCE SELECTION『チェイサー』では、演出も手がけている。

## 笠井 勲(かさい あきら) 振付・構成・群読指導



三重県出身。60年代に大野一雄、土方巽と共に舞踏の創成期を築く。71年より「天使館」を主宰、多くの優れたダンサーを輩出。79年オイリュトミー研鑽のため渡独、85年帰国後よりオイリュトミー公演を精力的に行う。94年『セラフィータ』でダンス活動を展開。近年、国内外のダンサーへの振付や04年秋『花粉革命』全米ツアーなど海外公演も多い、「今」を疾走するダンサー・振付家。

## 手塚 眞(てづか まこと) 原台本・演出・舞台美術

独自の観点であらゆる映像メディアでの先鋭的な作品製作に挑戦するヴィジュアルリスト。小説や音楽プロデュースなどジャンルを越えた表現活動も続けている。1999年には監督・脚本作品の『白痴』でヴェネチア国際映画祭デジタルアワードを受賞。現在は『PLUTO』(『ビッグコミック・オリジナル』)の監修、TVアニメ『ブラック・ジャック』(日本テレビ系)の監督を務めている。映画最新作『シンクロニシティ』は2005年冬に公開予定。



**橋本一子(はしもと いちこ) 音楽監督・作曲・ピアノ演奏**



武蔵野音楽大学卒業。1970年代から、YMO、高橋悠治、山下洋輔、渡辺香津美、ピエール・バルー、サムルノリ、ハンベニングなど内外の多彩なアーティストとのコラボレーションを行い、欧米でも高い評価を受けている。また、クラシック、現代音楽から、ジャズ、ロック、テクノ等までジャンルを超えた自己の音楽を創造、20枚のオリジナルアルバムを発表するかたわら、映画やTVの音楽監督も多数。

\*なお、万博公演に先駆けて、名古屋公演も開催します。

日 時：2005年9月10日(土)17時(開場は30分前)

11日(日)14時(開場は30分前)

会 場：愛知県芸術劇場大ホール

入場料：有料

企画・広報・お問い合わせ：愛知県文化情報センター(唐津絵理/藤井明子)

〒461-8525

愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター内

TEL052-971-5511(内722~725) FAX052-971-5644

E-mail [bunjo@aac.pref.aichi.jp](mailto:bunjo@aac.pref.aichi.jp) URL <http://www.aac.pref.aichi.jp>